

Title	生命保険会社の中堅企業における貸付けシェア拡大のための戦略的要因
Sub Title	
Author	坂井義章 村井俊雄
Publisher	慶應義塾大学大学院経営管理研究科
Publication year	1980
Jtitle	
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	複写許諾が必要
Genre	Thesis or Dissertation
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00001980-0082

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

学生氏名	坂井義章	主査	村井俊雄	教授
	(日本生命保険相互会社)	副査	関谷章	助教授
所属ゼミナール	鈴木貞彦 研		鈴木貞彦	助教授

生命保険会社の中堅企業における貸付シェア

拡大のための戦略的要因

生命保険会社の資産運用は、資金循環構造の変化、法人の資金調達方法の多様化等の金融基調の構造的変化の下で、大きな岐路に立っている。こうした時期には確固としたビジョンと適切な戦略の確立とが望まれよう。

本研究は、生命保険会社の行なう資産運用のうち企業向け貸付に注目し、貸付シェア拡大のための戦略的要因を探ったものである。方法的には銀行の貸付行動基準の生命保険会社への適用という形をとった。そして、文献研究によって変数を抽出し、仮説を構築した。仮説構築の基本的考え方は企業と生命保険会社の結びつきの強さとメインバンクの行動の貸付シェアへの影響である。仮説を検証するにあたっては、東京、大阪、名古屋各証券取引所第2部上場会社から標本を選定した。調査の結果、企業における貸付シェアがこれらの影響を強く受けているとは立証できなかった。しかしながら、「株式相対シェア」と「保険料収入」については、貸付シェアの増加企業と減少企業との間で有意に異なっていることが確認され、これら2要因の貸付シェア拡大に対する有効性が示唆された。また、生命保険会社の貸付行動基準について行なった補足研究の結果、生命保険会社の貸付行動基準は銀行の貸付シェア重視と異なり、「貸付額」重視ではないかという問題が提起された。